

# 平成26年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	連絡幹線配水管の布設																	
予算額	386,000 千円	新規・継続の別	継続															
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠															
担当課	水道部 管理課 (672-7743)																	
<p><b>[事業実施に至る経過・背景など]</b></p> <p>平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、水道施設において未曾有の被害をもたらした。しかしながら、耐震化がなされていた水道管路については、阪神淡路大震災と同様に、被害を受けていないと報告されており、改めて耐震化の有効性が示された。</p> <p>そこで、本市においては、老朽化した配水管の更新及び耐震化を推進するとともに、<u>給水の相互融通を可能とする連絡幹線配水管を整備するなど、地震等の災害に強い高水準な水道システムを構築するため、管路の地震対策を積極的に進めている。</u></p> <p>なお、連絡幹線配水管とは、隣接する異なる給水区域の配水幹線を耐震管路により連絡させるものであり、これにより、京都市内の3浄水場のうち1つが地震等の災害による事故で給水ができなくなった場合においても、他の浄水場から給水が可能となるため、バックアップ機能の強化により、リスクを分散することができる。</p> <p><b>[事業概要]</b></p> <p>平成26年度は、平成25年度に引き続き、御陵連絡幹線配水管布設工事を実施するとともに、吉田連絡幹線配水管布設工事に着手する。また花園連絡幹線配水管布設に係る設計を行う。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>計画延長</th> <th>布設済延長</th> <th>H26 布設予定延長</th> <th>残延長</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>吉田連絡幹線</td> <td>約 5.5km</td> <td>4.6km</td> <td>0.5km</td> <td>約 0.4km</td> </tr> <tr> <td>御陵連絡幹線</td> <td>約 5.2km</td> <td>4.4km</td> <td>0.8km</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高区御陵連絡幹線配水管布設 (その10) : φ 600× 800m</li> <li>・ 最高区吉田連絡幹線布設 (その10, その11) : φ 600mm×500m</li> <li>・ 高区花園連絡幹線配水管布設に係る設計 : φ 600×1800m</li> </ul> <p><b>参 考 (他都市の状況・事業効果など) ]</b></p>					計画延長	布設済延長	H26 布設予定延長	残延長	吉田連絡幹線	約 5.5km	4.6km	0.5km	約 0.4km	御陵連絡幹線	約 5.2km	4.4km	0.8km	—
	計画延長	布設済延長	H26 布設予定延長	残延長														
吉田連絡幹線	約 5.5km	4.6km	0.5km	約 0.4km														
御陵連絡幹線	約 5.2km	4.4km	0.8km	—														

# 平成26年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	新山科浄水場導水トンネルの2系統化		
予算額	62,000 千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠
担当課	水道部 管理課 (672-7743)		
<p><b>[事業実施に至る経過・背景など]</b></p> <p>京都市は明治45年に水道事業を開始して以来、水源のほとんどを琵琶湖に求めてきた。現在、琵琶湖と京都市の3つの浄水場の取水池を結ぶ導水施設としては、第1疏水、第2疏水があり、第2疏水については、第2疏水連絡トンネルにより一部バイパス化が図られている。</p> <p>また、各浄水場の取水池と着水井を結ぶ導水管については、蹴上浄水場は2経路持っているが、新山科浄水場、松ヶ崎浄水場についてはそれぞれ1経路のみである。</p> <p>特に、平成24年度末の山ノ内浄水場廃止により、市内給水量の約半分を受け持つ新山科浄水場は、より重要度が増しており、地震等災害時等のバックアップ体制の強化を図るための導水施設の2系統化は必要不可欠である。</p> <p><b>[事業概要]</b></p> <p>平成26年度は、平成25年度に引き続き、ルート選定のための調査・検討を実施するとともに、発進立坑設置予定地の整備に係る工事に着手する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画導水量 275,700×1.1 ≒ 303,300m<sup>3</sup>/日</li> <li>・トンネル内径 φ2800mm (セグメント外径 φ3200mm)</li> <li>・工期 平成26年～33年度             <ul style="list-style-type: none"> <li>(実施設計 平成25～26年度)</li> <li>(準備工事 平成26～27年度)</li> <li>(本体工事 平成28～33年度)</li> </ul> </li> </ul>			
<p>参 考 (他都市の状況・事業効果など) ]</p>			

# 平成26年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	老朽化した水道管の更新と耐震化の促進		
予算額	5,820,000 千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠
担当課	水道部 管理課 (672-7743)		
<p><b>[事業実施に至る経過・背景など]</b></p> <p>平成23年6月、洛西ニュータウンにおいて、酸性土壌による配水管の腐食が原因で漏水が相次ぎ、大規模な断水・濁水が発生した。市内全体でも、今後、高度経済成長期に布設した大量の配水管が老朽化していくことから、これらに対する計画的な更新が求められている。</p> <p>また、近年、全国的に大規模な地震が発生しており、本市においても内陸型地震の発生が危惧されている。東日本大震災においては、耐震化がなされていた水道管路については、被害を受けていないことが報告されていることから、水道管路の更新による耐震化の必要性が高まっている。</p> <p><b>[事業概要]</b></p> <p>平成26年度の上水道施設整備事業予算113億8,000万円のうち、<u>老朽管更新対策費として、58億2,000万円を確保し、水道管路の更新をペースアップし、耐震化をより一層効率的・効果的に進めていく。</u></p> <p>具体的には、老朽化した配水管の更新率を平成26年度には、0.9パーセントに引き上げることとし、漏水時に断水等の影響が大きい口径200mm以上の配水管のうち、老朽化が著しい管路、過去に漏水が生じた危険性の高い管路、代替機能のない管路などを優先して、耐震性の高い「高機能ダクタイル鋳鉄管」への布設替えを実施する。</p> <p>(主な事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幹線配水管布設替え 4.2 km</li> <li>・支線配水管布設替え 18.0 km</li> <li>・補助配水管布設替え 8.0 km</li> </ul>			
参 考 (他都市の状況・事業効果など)			

# 平成26年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	浸水対策事業(雨水幹線等の整備)		
予算額	4,028,000 千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠
担当課	下水道部 計画課 (672-7839)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]                      これまでから、大雨時に浸水が発生した箇所を中心に浸水対策を進め、大きな効果を上げているが、近年は全国的にも局地的集中豪雨が多発していることや、地下街等の地下空間の利用が進み浸水リスクが増大していることから、その対応が必要である。</p> <p>[事業概要]                      浸水被害の低減のため、地下街等の地下施設が集積する京都駅周辺地区、山科駅周辺地区で、塩小路幹線及び山科三条雨水幹線の整備を継続するとともに、<u>阪急桂駅東側地域(新川流域)</u>において、河川改修に併せ、<u>新川6号幹線の整備に着手する。</u></p> <p>&lt;主な事業&gt;                      [継続]                      ○ 塩小路幹線(京都駅周辺地区)                      ・口 径 φ3,200mm(貯留量13,600m<sup>3</sup>)                      ・延長 L=1,720m                       ○ 山科三条雨水幹線(山科駅周辺地区)                      ・口 径 φ1,500mm                      ・延長 L=2,260m                       [新規]                      ○ <u>新川6号幹線(阪急桂駅東側地域)</u>                      ・口 径 φ2,200mm                      ・延長 L=900m                      ・平成26年度から事業着手</p>			
参 考 (他都市の状況・事業効果など) ]			

# 平成26年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	災害用マンホールトイレ整備事業		
予算額	90,000 千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠
担当課	下水道部 計画課 (672-7839)		

**[事業実施に至る経過・背景など]**

東北・関東地方のライフラインに甚大な被害をもたらした東日本大震災では、被災後の市民生活において、トイレ機能の確保の重要性が再認識された。

この教訓を生かし、本市においても、災害用マンホールトイレの整備を進めていく必要がある。

**[事業概要]**

災害用マンホールトイレの配置場所については、震災時に多数の市民が長時間にわたって避難することが想定されている広域避難場所69箇所のうち、15箇所を選定し、これまでから、市内全域にバランスよく設置を行ってきている。

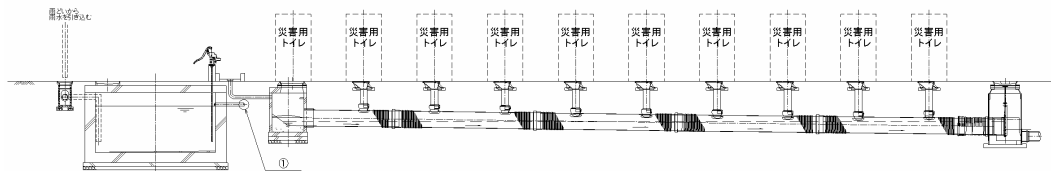
さらに、今後は、避難所(小中学校)に対象範囲を広げ、平成26年度については新たに14箇所を対象として設置を進めていく予定である。

(平成24年度完成場所)

西京極総合運動公園(右京区)、牛ヶ瀬公園(西京区)、伏見北堀公園  
向島東公園(伏見区)

(平成25年度完成見込場所)

大宮交通公園(北区)、宝が池公園スポーツ広場、岡崎公園(左京区)、東野公園(山科区)、  
小畑川中央公園(西京区)



災害用マンホールトイレ概念図

**参 考 (他都市の状況・事業効果など) ]**

政令指定都市では、千葉市、川崎市、横浜市、相模原市、東京都、新潟市、浜松市、名古屋市、大阪市、堺市、神戸市、広島市が設置

# 平成26年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	老朽化した下水道管の更新と耐震化の促進		
予算額	2,060,000千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠
担当課	下水道部 計画課 (672-7839)		
<p><b>[事業実施に至る経過・背景など]</b>            高度経済成長期に布設した大量の下水道管が老朽化していくことから、これらに対する計画的な更新が求められている。            下水道管が損傷した場合、下水の流下能力の低下に伴う溢水や道路の陥没等を招き、市民生活に大きな影響を与えることになるため、下水道管の老朽化対策や、耐震化などの地震対策を推進していく必要がある。</p> <p><b>[事業概要]</b>            平成26年度の公共下水道建設事業費179億円のうち、<u>老朽管更新対策費として、20億6,000万円を確保し、下水道管の更新や耐震化を進めていく。</u>            具体的には、<u>下水道総合地震対策事業(国庫補助)</u>を活用して、緊急輸送路下や軌道下等の重要な管路を合わせた486kmを対象として、年間平均28kmの対策を継続して進め、下水道機能の維持・向上対策を推進していく。</p> <p>(主な事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化した管路の調査、管更生及び布設替 20km</li> <li>・重要な管路の耐震化 8km</li> </ul>			
参 考 (他都市の状況・事業効果など) ]			

# 平成26年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	大規模太陽光発電設備設置事業		
予算額	360,000千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠
担当課	水道部 管理課 (672-7743) 下水道部 計画課 (672-7839)		
<p><b>〔事業実施に至る経過・背景など〕</b>                  上下水道局においては、これまでから再生可能エネルギーの普及・促進、新エネルギーの活用の推進として、小規模な太陽光発電システムの導入を進めてきた。                  さらに、平成25年度からは、平成24年7月に創設された「再生可能エネルギー固定価格買取制度」を活用することにより、大規模太陽光発電設備を設置している。</p> <p><b>〔事業概要〕</b>                  平成26年度は、平成25年度に運用開始した鳥羽水環境保全センター及び新山科浄水場に引き続き、松ヶ崎浄水場及び石田水環境保全センターにおいても大規模太陽光発電設備を設置する。</p> <p>(1) 松ヶ崎浄水場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設置場所 高区及び最高区配水池の上部</li> <li>・設備容量 約730kW</li> <li>・年間発電量 約608,000kWh/年(想定) (一般家庭 約140世帯分の年間電力消費量に相当)</li> <li>・概算事業費 約3.5億円(うち平成26年度:3.1億円)</li> </ul> <p>※平成26年度発電開始見込み</p> <p>(2) 石田水環境保全センター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設置場所 A~D系列水処理施設建屋の上部</li> <li>・設備容量 約1MW</li> <li>・年間発電量 約900,000kWh/年(想定) (一般家庭 約200世帯分の年間電力消費量に相当)</li> <li>・概算事業費 約5億円(うち平成26年度:0.5億円)</li> </ul> <p>※平成27年度発電開始見込み</p>			
参 考 (他都市の状況・事業効果など) ]			

# 平成26年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	山間地域における上下水道事業の推進		
予算額	3,248,537千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠
担当課	技術監理室 地域事業課 (672-7790)		
<p><b>1 大原簡易水道の再整備事業 (予算額 737,856千円)</b>  <b>[事業実施に至る経過・背景など]</b>                  大原簡易水道は、昭和45年に地元住民で設立された大原簡易水道組合により運営されてきたが、設置後年数が経ち、施設の老朽化が進み、消火水量の不足や水道使用時の水圧不足等の課題を抱えている。                  このため本市では、大原地域において安全・安心な水道水を安定して供給するため、平成21年10月に大原簡易水道の移管を受け、平成21年度から再整備事業に取り組んでいる。</p> <p><b>[事業概要]</b></p> <p>(1) 事業内容 第1浄水場の整備 (膜ろ過設備の導入) , 第1配水池の新設及び老朽化した配水管等の布設替えなど</p> <p>(2) 総事業費 約18億円</p> <p>(3) 整備期間 平成21~28年度</p> <p>(4) 平成26年度予定 <u>配水管布設工事, 第1浄水場整備工事及び第2浄水場整備工事 など</u></p>			
<p><b>2 京北地域水道の再整備事業 (予算額 1,927,110千円)</b>  <b>[事業実施に至る経過・背景など]</b>                  京北地域水道は、設置後年数が経ち、施設の老朽化が著しいことに加えて、生活様式の変化に伴う水量不足の問題や、広範囲に数多くの浄水場が点在し管理上の効率が悪いなどの課題を抱えている。                  このため本市では、京北地域において安全・安心な水道水を安定して供給するため、平成18年3月に京北地域水道の再整備事業計画を策定し、平成19年度から再整備事業に取り組んでいる。</p> <p><b>[事業概要]</b></p> <p>(1) 事業内容 ①既存の9事業・11浄水場を4事業・5浄水場に統合することによる施設管理の効率化②老朽化した施設の改築・更新及び能力アップによる安全・安心で安定した水道水の供給</p> <p>(2) 総事業費 約79億円</p> <p>(3) 整備期間 平成19~28年度</p>			



- (4) 平成26年度予定 京北中部簡易水道…配水管布設工事, 配水池等整備工事, 実施設計及び  
用地買収 など  
細野簡易水道…配水管布設工事及び配水池等整備工事 など

### 3 北部地域特定環境保全公共下水道事業（予算額 583,571千円）

#### 〔事業実施に至る経過・背景など〕

本市では、市内北部地域における、住民の方々の健康で快適な生活の確保や、下流域、更には観光地における水環境の保全を目的として、平成19年5月に策定した「京都市北部地域等総合下水処理対策」に基づき、大原、静原、鞍馬及び高雄の4地区において、北部地域特定環境保全公共下水道の整備を実施している。

#### 〔事業概要〕

- (1) 事業内容 下水道管の布設を総延長距離約53Km行う下水道整備  
(整備面積約125.6ヘクタール)
- (2) 総事業費 約79億28百万円
- (3) 整備期間 平成20～26年度
- (4) 平成26年度予定 大原地区…路面復旧

# 平成26年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	おいしい！大好き！京(みやこ)の水キャンペーン		
予算額	5,900千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠
担当課	総務部 総務課 (672-7810)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>上下水道局では、市民の皆様をはじめ京都市に通勤・通学されている方など、京都の水道水を使用されている多くの方に京都の水道水のおいしさとクオリティの高さ（安全・安心、低価格、環境にやさしい等）を知っていただき、その大切さを再確認していただくことを目的に、平成25年度に、新規事業として「京(みやこ)の水キャンペーン」を実施した。</p> <p>26年度についても、以下の①～④を実施するとともに、とりわけ②京(みやこ)の水カフェについて充実を行う。</p> <p>【事業概要】</p> <p>① <b>おいしい！大好き！京(みやこ)の水宣言</b>          京都の水道水はおいしい！大好き！と自ら宣言していただき、市民の皆様には水道水のおいしさと大切さを再認識していただく機会とする。          各種イベント会場やホームページ、京都いつでもコール、郵送、FAX等あらゆる方法により宣言者を募り、宣言いただいた方には、水道水を飲むことを常に意識していただけるよう、御自宅のキッチン、コップ等に貼っていただける防水ステッカーや水道水を入れて携帯していただくマイボトルをプレゼントする。</p> <p>② <b>京(みやこ)の水カフェ</b>  <u>水道水を活用したメニューを安価で提供するカフェをオープンする。</u>  <u>実施時期は、5月のゴールデンウィークに東山地域で4日間及び夏期の土・日曜日に市内中心部で12日間を予定している。</u>（平成25年度は、寺町専門店会商店街内にて、7月27日～8月18日の土・日曜日の8日間実施）  <u>メニューや場所等の内容については、龍谷大学とコラボし、学生ならではのフレッシュな発想を取り入れながら事業を進めていく。</u></p> <p>③ <b>京(みやこ)の水・利き水大作戦</b>          水道水と国産及び外国産のミネラルウォーターを飲み比べる「利き水」のブースを各種イベント会場や商業施設等に出展し、多くの方に水道水のおいしさを実感していただく（20回程程度の出展を想定）。          ※ 当局でこれまでに実施した「利き水」では、毎回、水道水を「最もおいしい」と回答する方が1番多い。</p> <p>④ <b>特設ホームページ</b>          宣言への動機付けとなり、また宣言者一人ひとりの貢献度がわかるよう、現在の宣言者数をビジュアル化して表現する。</p>			